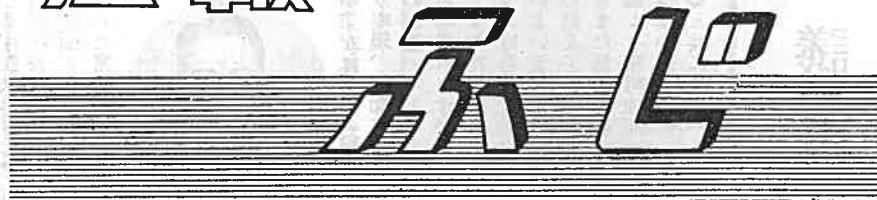


■発行 静岡県富士市役所  
■編集 市長公室  
■電話 富士局(代)2900番



## 世帯と人口

(39. 12. 1日現在)  
 面 積 30.55平方粡  
 人口總數 52,581人  
 男 { 26,809人  
 女 { 25,772人  
 世 葦 数 11,508世葦

全世帯に配布

この広報紙は町内自治会を通じ市内の全世帯にもれなく配布されております。皆さんのお宅に届かないときは部落の区長または市広報係までお由り出ください。

# 迎春



明けましておめでとうございます。各々には、昭和四十年の新春をつつがなく迎えられたことと存じ、心からお慶び申上げます。

昨年を振り返つてみますと、世界の政情は、まことに騒然たるものがあり、ソ連の政変をはじめ、中共の核実験、英國労働党の勝利、米国大党領選挙と実に目まぐるしい変転がございましたが、我が国の政治、経済の動向もまた極めて多事多難な年でございました。

特に注目すべきは、昨秋以来、高度経済成長政策から安定成長への方向転換され、施策の重点が国民生活と直結する社会開発に注がれつつあることであらうと考えるのであります。

さて、当富士市政にとりましても昭和三十九年は、まことに容易ならざる一年でございました。幸い私は市民各位の厚い御理解

々の問題として提起されてまいります。これに加えて、私の最も意を用いてまいりました道路行政は、本年加島踏切の立体化実現に合せその他の主要道路の改良、舗装はさらに重点的にかつ意欲的に進めてまいります。

この外、文教の施設、住宅、環境衛生の諸施策も決してゆるがせにはできません。しかしながら市財政は、前述の経済の動向よりして、税収は伸び悩みとなつてまいる反面、緊急を要する財政需要は、余りにも増嵩し、財政運営は、かなりの窮地に陥っていることが予測せられるのであります。私は市議会をはじめ、市民各層一人一人の御理解、御協力に支えられこの困難な、しかもまたとない建設に対処いたしてまいります。

昨年は市制施行十周年記念の各種行事を執行いたしましたが、この記念事業として覚悟でございます。



## 新春のことば

富士市長 漆畠五右

援をいただき、当初計画した諸事業も順調な推移をもつて越年いたすことのできましたことは、衷心より感謝にたえない處でございます。

玆に、昭和四十年の新しい年を迎え、本年の市政の方向を展望するとき、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございまます。すでに国の指定を受けた東鶴河濱工業整備地域としての主要整備事業は一部公共投資の対象となり、産業基盤整備事業のボイントとも謂うべき、田子浦港は慇々完成へ拍車がかけられてまいります。岳南の表玄関にふさわしい富士駅は、見事に完成してその偉容を誇り、駅南北六万余坪の大都市改造成も進められ、永く市民の希望した南北設置は今春完成が予定せられております。また身延線の付替、東名高速自動車道路国道一号線バイパス等の大事業は、新春早

取り上げた市民の憩いの場、文化の殿堂たる総合文化センターは、国、県のお力添えをはじめ市内有力各社の巨額な御寄附をいたぎ建設の準備も整い新春早々、植音も高らかに着工の運びとなりましたことは、誠に御同慶にたえないところであります。なお当面の市政にとりまして最も緊急な問題は何とといいましても都市合併の問題であります。旧ろうまでに既に各種基本調査も完了いたしましたので、毎々、本年は合併への具体的な方策が協議されてまいります。私は、真に市民全体の福祉を増進する立場から積極的にこれが推進をはかつてまいる所存でございます。

最後に御家族そろつて健康に恵まれ、輝かしい昭和四十年であらんことを心から祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

1月のしおり

# 謹賀新年

市長	漆畑	五六
助役	遠藤	栄
収入役	内山	正己
市室長	影山辰男	
財政課長	長洲幹彦	
庶務課長	大石克己	
保険衛生課長	彦治	
都市計画課長	落合廣治	
市民課長	美濃仁一郎	
農務課長	栗原勝	
土地改良課長	後藤龍雄	
土木課長	渡辺好一	
厚生課長	望月雅己	
税務課長	和三	
商工課長	鈴木敏三	
水道課長	石井高朝	
学校教育課長	木村朝男	
社会教育課長	橋本一同	
教育長	吉田喜甫	
庶務課長	鈴木一彦	
外職員	幾見茂夫	
外職員	木村岩男	
市立富士中央病院院長	多々良満寿雄	
副院長	井手寛	
事務局長	滝川隣龍	
薬局長	麻岡法四郎	
外職員	一同	